

文化財の保存と活用

「渋沢栄一」論語碑の説明看板を設置

■ 目的

不動ヶ岡不動尊總願寺(加須市不動岡)には、新札発行で話題となった渋沢栄一翁の書による論語碑があります。論語碑を通して、渋沢栄一翁の思想及び加須市との関わりを説明し、加須市の歴史の理解や郷土愛の醸成を図ることを目的とします。

1 論語碑と加須市との関わり

石碑は、大正7年(1918)に渋沢栄一翁の加須市来訪を記念して、その2年後の大正9年秋に建立されました。高さは4m30cm、横1m86cm、厚さ20cmで、見上げるほどの大きさです。渋沢栄一翁は、加須小学校及び埼玉中学校(現不動岡高校)に来訪し、講演を行っており、不動岡高校には、渋沢の書による「質実剛健」の額が掲げられています。

2 説明版の内容

隣接する芭蕉句碑(市指定文化財)の説明板と同等サイズ(高さ1.5m・幅1.2m)のものを計画しており、説明板では論語の内容と石碑建立の由来等を掲載する予定です。

■ 補正予算額 599千円

■ 参考(説明版の設置イメージ)



「渋沢栄一」論語碑

芭蕉句碑
同説明板



設置予定箇所